

令和4年度 神戸大学「異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト」 募集要項

このたび、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）事業に「異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト」として採択されました。全学の博士課程後期課程（博士課程）学生を対象に本プロジェクト生を募集します。

1. 目的

異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクトでは、本学の博士課程後期課程に在学する様々な分野の博士学生を数理・データサイエンスの素養を持ち、グローバルに学際領域で活躍できる卓越博士人材を育成し、トランスファラブルな素養を身につけさせる教育・研究を通して、社会に求められる高度専門人材の育成を目指します。

2. 支援内容

本プロジェクトに選ばれたものは研究専念支援金および研究費を支給します。また、研究力向上のための機会を与え、さらに、キャリアパス支援を行うため、神戸大学博士学生支援総合パッケージとして別紙1に示す支援プログラムを提供します。

支援金および研究費

研究専念支援金 200万円/年

研究費 20万円/年+追加研究費

・追加研究費は、申請内容ならび予算額の査定を行い、研究費や海外派遣費を支給する

3. 期間

令和4年4月1日から修了年月まで（ただし、標準修了年限を超えることはできない）

4. 募集人数

合計46人程度

5. 対象とする研究科

神戸大学の全研究科

6. 応募資格

以下の1)～3)のすべてに該当する者

- 1) ①もしくは②に該当する者。①令和4年4月1日現在、または、令和4年10月1日現在、本学大学院博士課程後期課程1年生の者(見込み含む)、②休学のため令和3年度本プロジェクトに応募しておらず令和4年4月1日現在復学している者で、2年生～3年生(医学研究科以外)もしくは2年生～4年生(医学研究科)
- 2) 標準修了年限以内に学位取得が見込める者
- 3) 本プロジェクトの予算管理が行える研究室に所属する者(見込み含む)

ただし、申請時点で以下のいずれかに該当する学生は申請することができない。

- ・標準修了年限を超えて在学している学生、令和4年4月1日時点で休学中の学生。ただし、出産・育児・疾病等の場合、支給を一時中断して復帰後に再開するなど、状況に応じ個別に判断する
- ・日本学術振興会の特別研究員(内定者含む)、国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生

(内定者含む)、本国からの奨学金等の支援を受ける留学生 (内定者含む)

- ・神戸大学博士学生フェロー (内定者含む)
- ・所属する企業等から、生活費相当額として十分な水準 (240 万円/年以上) で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生 (ただし、アルバイトや非常勤など不安定な収入を得ている者の応募は可能)
- ・令和3年度本プロジェクトに応募した者

7. 申請方法

- 1) 申請締切：令和4年2月28日 (月) 23:59
- 2) 指定の様式1、様式2を使用し申請書を作成し、担当教員の同意を得た上で、様式1は excel のまま、様式2は PDF ファイルに変換し、電子ファイルの添付ファイルとして、以下の担当部署に提出すること
※様式2の2～4は英語での記述も可

担当部署：神戸大学大学院博士支援推進室

提出先メールアドレス：crct-hakase@edu.kobe-u.ac.jp

件名：R4 異分野共創による次世代卓越博士人材育成プログラム申請

8. 選考方法

- ・本プロジェクトの運営委員会で候補者を決定する
- ・選考は、申請資料の様式1、2と別紙2の審査項目とを照らし合わせ評価する
- ・各選考過程で必要に応じて面接を行うことがある
- ・選考結果は令和4年3月下旬頃にキャリアセンターホームページに掲載する

9. 支給対象学生の義務

- 1) 1年ごとに研究の進捗状況報告書を提出すること。なお、後期課程修了年については学位論文をもって報告書とすることができる
- 2) 博士学生支援総合パッケージ (別紙1) のプログラムに積極的に参加し、1年間に授業科目2単位 (1単位は45時間の学習) 相当分のプログラムに参加すること。特に、異分野共創研究発表会で1回以上の発表は必須とする。ただし、本パッケージで提供するプログラムは正規の授業科目ではない場合がある。
- 3) 修了までの期間内に本プロジェクトで指定する数理・データサイエンス教育プログラム (別紙3) を受講すること。なお、このプログラムも、2) の単位数に含めることができる。
- 4) 研究成果は学術論文や学会発表を通して積極的に発信すること
- 5) 運営委員会が指定する行事に参加すること
- 6) 修了後10年間はキャリアに関する追跡調査などの各種調査に協力すること

※ただし、ここに示した単位数やパッケージ名などは変更となる可能性があります。

10. 支援の取消

以下の条件に当てはまる場合はプロジェクト生の資格を取り消す場合があります。

- 1) 応募資格を満たさなくなった場合
- 2) 研究計画の遂行状況または支給対象学生としての義務の履行状況が不十分と認められる場合
- 3) 本人から辞退の申し出があった場合
- 4) その他学長もしくは本プロジェクトの運営委員会が取り消すべき事由があると判断した場合

11. 注意事項

- ・ 研究専念支援金は雑所得として課税対象となり所得税に関する確定申告が必要
- ・ 研究活動に支障がない範囲の TA やアルバイトの賃金、学会からの学術賞等の賞金、有償のインターンシップの報酬を受けることは可能
- ・ 本プロジェクトに選ばれたものは、本学ホームページに氏名と学年を公表する

12. 問い合わせ先

神戸大学大学院博士支援推進室 TEL:078-803-5217

メールアドレス : crct-hakase@edu.kobe-u.ac.jp

(別紙1)

異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト
神戸大学博士学生支援総合パッケージ

A 教育支援

- A-1 数理・データサイエンス教育プログラム
- A-2 大学院異分野共創型教育プログラム
- A-3 医工融合プログラム
- A-4 研究グローバル展開力育成コース

B 研究支援

- B-1 全学センター主催研究会
- B-2 異分野共創研究発表会
- B-3 大型施設利用プログラム
- B-4 神戸大学プレミアム・プログラム
- B-5 若手研究者グラント獲得支援

C キャリア支援

- C-1 中長期インターンシップパッケージ
- C-2 博士人材と企業の交流会
- C-3 若手研究者による個別ヒアリング
- C-4 大学教員育成プログラム

(別紙2)

異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクト
審査項目と内容

審査項目	内容
研究実績	将来性を期待させる研究実績があるか
研究の位置づけ	研究課題の設定に至る背景が示されており、かつ、その着想が優れているか
研究目的・内容等	研究目的、研究方法、研究内容が具体的に示されており、研究の方法にオリジナリティがあり、自身の研究課題の今後の展望が示されているか
研究遂行力	「研究に関する自身の強み」、及び「更なる発展のため必要と考えている要素」が具体的に示されており、研究遂行力の自己分析が十分にできているか。また、学術の将来を担う優れた研究者となることが十分期待できるか
数理・データサイエンス	数理・データサイエンスの素養を身につけようとする強い意思があるか
異分野共創型研究への展開	研究計画もしくは将来計画で、異分野共創型研究への展開を期待させる内容が含まれているか
挑戦的研究への展開	研究計画もしくは将来計画で、挑戦的研究への展開を期待させる内容が含まれているか
新規研究分野の開拓	現在の専門分野だけでなく、新たな研究分野への展開など、新規研究分野の開拓に意欲的か
社会課題解決能力	社会的な課題に目を向け、博士課程での研究を通して、それらを解決する能力を身に着けることが期待できるか

(別紙3)

数理・データサイエンス教育プログラム

- ・異分野共創博士トップ人材育成副専攻プログラム
 - (a) データサイエンス高度コア：3単位（必修：2単位、選択必修：1単位）
 - (b) プロジェクト研究：4単位（必修）※プロジェクト研究期間を1セメスターとして計7単位

- ・異分野共創エキスパート人材育成副専攻プログラム
 - (a) データサイエンス基礎コア：3単位（必修：2単位、選択必修：1単位）
 - (b) 分野別 PBL：1単位（選択必修）計4単位

「異分野共創博士トップ人材育成副専攻プログラム」はデータサイエンスを専門とする学生向け、「異分野共創エキスパート人材育成副専攻プログラム」はそれ以外の学生を対象としています。これらのプログラムは、本学の数理・データサイエンスセンターが提供予定のプログラムですが、異分野共創による次世代卓越博士人材育成プロジェクトではどちらかのプログラムの (a) の3単位を修得することを求めます。尚、ここに示したのは予定であり、具体的なコース名や単位数等は変更になる場合があります。また、研究科によっては、正規の単位科目でないこともあります。